

〔資料解題〕

高校生と有権者：政治意識を比較する — 2016・2022 参院選政治意識調査から — High School Students and Voters: Comparing Political Attitudes — From the 2016 and 2022 Upper House Election Political Consciousness Surveys —

埼玉大学社会調査研究センターでは、2022年7月の参院選直後に、さいたま市の市立高等学校3校の生徒を対象に政治意識調査を実施した。同参院選後には、さいたま市民を対象とする「政治に関する意識調査」も実施している(両調査の方法や結果に関しては、本誌前掲の2論文を参照されたい)。

両調査においては、参院選での投票行動を中心に共通の質問を採用しており、18歳の高校生有権者と市民有権者との間の比較が可能となる。加えて、同様の並行調査は、18歳選挙権が初めて導入された2016年の参院選直後にも実施している(注1)。本稿では、先ず、2022年調査結果に依拠して、高校生有権者と一般有権者の定点比較を行う。次いで、2016年調査および22年調査の結果をもとに、高校生—有権者間の経年推移の比較を行いたい。

1. 2022年調査結果

〔参考図〕は、2022年7月の第26回参議院議員通常選挙の、さいたま市における実際の投票率の年齢別グラフである。一方、〔表1〕は、調査における「投票したか、しなかったか」という質問に対する「投票した」回答の年齢別の値に相当する。両者の数値には大きな相違が存在している。ただ、実際の投票率とは、全有権者に占める投票者の割合(投票者数 / 有権者数)という絶対的な値であるのに対して、調査における『投票率』=「投票した」回答の比率とは、調査の対象者ではなく、回答者を100とした時の「投票した」人の割合という相対的な値であることに留意が必要である。

〔表2〕は、「投票した」と回答した人に「当日投票をしたか、それとも期日前投票をしたか」を聞いた結果を示している。「当日投票した」回答の比率は、高校生有権者で82%と突出して高い。他方、一般有権者に関しては、年代による顕著な相違は見受けられない。なお、さいたま市における、22年参院選での投票総数に占める「期日前投票」の割合は33%であった。

〔表3〕は、「投票した」人に「誰と投票に行ったか」を聞いた結果である。高校生における「家族と」の比率が顕著に高く、まさに、「家族が支える投票行動」と表現しうる姿が思い浮かぶ。高年層、とりわけ80歳以上の「一人で」の割合の高さは、家族(ないし伴侶)との投票がままならないという状況を示唆しているように思われる。

〔表4〕は、同じく「投票した」人に「選挙区で誰を選ぶか決める時、候補者の所属する政党を重視して投票したか、それとも候補者個人を重視して投票したか」聞いた結果をまとめたものである。値の相違はあるものの、全年代で「政党を重視して」が多数を占める傾向は共通している。

「投票しなかった」と回答した人に、「投票しなかったのはなぜか」を聞いた結果が〔表5〕である。棄権の理由に関しては、年齢差が存在する。「他の用事があったから」と「病気や体調が良くなかったから」の比率を参照されたい。加えて、「誰を選んでいいのかよくわからなかったから」が80歳以上を除くすべての年代で3~4割を占めていること、「選挙に関心がない」も40代を最高に実年代で相応の比率を示し

ていることなど、気に掛かる傾向が見受けられる。なお、80 歳以上における「病気や体調が良くなかったから」の高比率からは、投票に行きたくともままならない、いわゆる『投票弱者』の存在が示唆されよう。急速な高齢化が進む大都市さいたまの難題に他ならない。

ここからは、投票行動以外の共通質問の回答を比較したい(注 2)。「表 6」は、「家族と政治の話をすることがある」かを聞いた結果である。各年代に共通する傾向として、「よくある」+「ときどきある」の「ある」派と「あまりない」+「ほとんどない」の「ない」派とに、ほぼ二分される状況が見受けられよう。

〔表 7〕から〔表 9〕は、政治や社会のニュースにふれる媒体とその頻度に関する結果をまとめている。〔表 7〕に明らかなように、「テレビで見ている」という比率が、全年代を通じて多数を占める。ただし、そのテレビについても、「あまり見ない」+「全く見ない」の割合が高校生から 30 代ぐらいまでは 3 割に達している。〔表 8〕の新聞については、若い年代で「全く読まない」比率が高く、ほぼ 70 代以上の高齢者メディアになっている。〔表 9〕のインターネットに関しては、「毎日見ている」割合は、若年層ではなく 40 代から 60 代の実年世代で最も高いシェアを示している。「社会や政治のニュース」という前提条件ゆえであろうと推測される。

2. 2016 年結果と 2022 年結果

2016 年調査と 22 年調査の結果から、18 歳選挙権導入後の 6 年間における政治意識の推移を確認してみよう。

〔表 10〕は、18 歳選挙権に対する評価、すなわち、「18 歳という年齢で選挙権を持つのは早いと思うか、それとも遅いと思うか」を聞いた結果である。全年代を通じて「ちょうどいい」の肯定的評価が多数を占めている。しかしながら、経年の推移に注目すると、「ちょうどいい」の比率はすでに導入直後の 2016 年段階で多数を占めており、この 6 年間で 5 回の国政選挙を経験したにもかかわらず、22 年にかけての比率の増加傾向は読み取れない。加えて、「早い」とする回答も、中高年層を中心に相応の比率を占め続けている。

〔表 11〕は、被選挙権年齢について、「(選挙に立候補できる被選挙権は、都道府県知事と参議院議員では 30 歳以上、それ以外では 25 歳以上になっているが)どうすべきだと思うか」という問いかけへの回答結果をまとめている。「引き下げるべきだが、選挙権と同じ年齢まで引き下げる必要はない」の比率が高校生や 30 代、40 代などでやや増加傾向にあるものの、「今のままでよい」が多数を占める状況に、2016 年、22 年ともほとんど変わりはない。

〔表 12〕は、「今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思うか」と聞き、列挙した選択肢から 1 つ選択してもらった質問の結果である。2016 年、22 年に共通して、「国民一人一人」の割合が年齢の上昇とともに減少していき、替わって「官僚」の比率が上昇し多数を占めるという傾向が存在している。「国会議員」の比率を考え合わせると、加齢とともに政治を遠いものに感ずるようになるのが、有権者の政治的社会化の特性なのだろうか。

〔表 13〕および〔図 1〕は、「現在の政治に対してどの程度満足しているか」という政治満足度質問の結果に相当する。〔図 1〕は、「満足」=「大いに満足」+「だいたい満足」から「不満足」=「大いに不満」+「やや不満」を差し引いた値をプロットしている。2016 年、22 年とも、若年層から中年層にかけて、年齢の上

昇につれて徐々に政治不満が高まっていくという基本的傾向が存在している。ただし、高校生だけは、2016年の不満足志向(－)から22年の満足志向(＋)へと、プラス・マイナスが転換している。

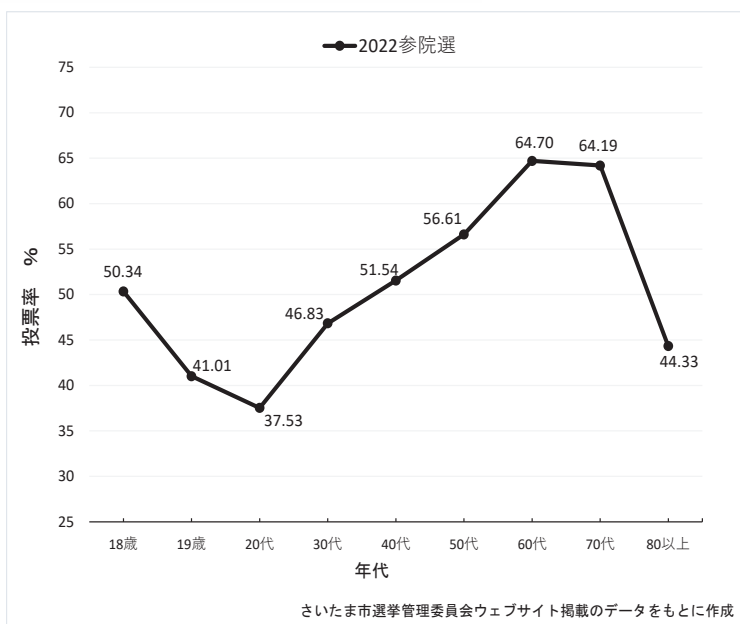
[表14]および[図2]は、「日本の政治家(国会議員、地方議員、知事や市長)を考えた時、政治家についてどんな印象を持っているか」という政治家信頼度質問の結果に相当する。[図2]は、「信頼」＝「とても信頼できる」＋「ある程度信頼できる」から「不信」＝「あまり信頼できない」＋「全く信頼できない」を差し引いた値をプロットしている。2016年と22年双方とも、全年齢の値がマイナス次元にあり、政治家への不信感が広く共有されている。しかしながら、先の政治満足度と同様に、高校生に関しては、2016年から22年へと、政治家に対するマイナス・イメージの低減ないし相対化傾向が存在している。今後の推移が非常に注目される。

(文責:松本 正生)

(注)

- 1) 松本正生「子どもから大人へ、政治意識と社会化環境 ―中学生・高校生・有権者調査―」
『政策と調査』第12号、2017.3
- 2) 高校生に関しては、18歳有権者だけでなく、1年生から3年生まで全学年の結果を採用する。

[参考図]



[表 1] 参議院議員選挙で投票したか (2022)

	投票した	投票しなかった
高3 有権者	71	29
18~29歳	60	40
30代	65	35
40代	73	27
50代	72	28
60代	81	19
70代	77	23
80歳以上	63	37

(%)

[表 2] 投票日当日に投票したか (2022)

	当日投票をした	期日前投票をした
高3 有権者	82	17
18~29歳	64	36
30代	56	44
40代	51	49
50代	68	32
60代	65	35
70代	63	37
80歳以上	65	35

(%)

[表 3] 誰と投票に行ったか (2022)

	1人で	家族と	その他
高3 有権者	20	80	1
18~29歳	45	55	-
30代	44	53	2
40代	43	56	2
50代	52	48	-
60代	49	51	-
70代	57	42	-
80歳以上	61	35	3

(%)

[表4] 政党を重視して投票したか または、候補者を重視して投票したか (2022)

	政党を重視して	候補者個人を重視して	どちらとも いえない	わからない
高3 有権者	52	28	14	6
18～29歳	73	15	9	3
30代	58	24	18	-
40代	56	30	15	-
50代	69	24	6	1
60代	55	32	13	-
70代	67	26	7	-
80歳以上	55	32	10	3

(%)

[表5] 投票しなかった理由 (2022)

	他の用事が あったから	病気や体調 が悪くな ったから	投票所が遠 かったから	面倒だっ たから	選挙に関心 がなかつ たから	誰を選んで いいのかよ くわから なかつた から	自分一人 が投票し ても意味 がない から
高3 有権者	63	4	5	13	11	30	1
18～29歳	23	23	9	14	32	41	14
30代	38	4	-	29	33	33	17
40代	14	5	-	14	50	32	9
50代	39	12	-	12	18	30	9
60代	-	24	6	12	29	47	12
70代	7	26	11	11	30	33	15
80歳以上	-	67	17	-	11	11	6

(%)

[表6] 家族と政治の話をすることがあるか (2022)

	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない
高1	14	45	25	15
高2	11	45	27	17
高3	14	43	27	15
18～29歳	15	31	27	27
30代	1	49	25	25
40代	11	45	20	24
50代	10	45	20	25
60代	10	39	28	23
70代	13	51	24	11
80歳以上	14	31	31	20

(%)

[表7] テレビで社会や政治のニュースを見る (2022)

	毎日見ている	週に2、3回見ている	あまり見ない	全く見ない
高1	28	37	27	6
高2	28	38	26	5
高3	33	35	24	5
18～29歳	40	31	24	5
30代	45	26	20	9
40代	57	13	18	8
50代	68	19	10	3
60代	88	6	6	1
70代	86	9	4	-
80歳以上	84	8	8	-

(%)

[表8] 新聞で社会や政治の記事を読む (2022)

	毎日読んでいる	週に2、3回読んでいる	あまり読まない	全く読まない
高1	2	7	30	59
高2	2	7	29	59
高3	3	7	28	59
18～29歳	11	7	16	65
30代	6	10	16	68
40代	17	13	18	48
50代	23	20	18	39
60代	45	14	23	17
70代	57	15	18	6
80歳以上	63	12	16	8

(%)

[表9] インターネットで社会や政治のニュースを見る (2022)

	毎日見ている	週に2、3回見ている	あまり見ない	全く見ない
高1	15	34	38	12
高2	15	40	33	10
高3	18	36	34	10
18～29歳	47	27	20	5
30代	43	36	14	6
40代	63	14	13	5
50代	54	22	17	7
60代	61	18	6	12
70代	27	16	20	34
80歳以上	4	-	22	65

(%)

[表 10] 18歳という年齢で選挙権を持つのは早いと思いますか。それとも遅いと思いますか。

	早い		ちょうどいい		遅い		わからない	
	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022
高1	22	17	50	64	7	6	18	14
高2	25	15	44	67	2	4	26	14
高3	19	18	50	61	3	5	23	16
18～29歳	22	20	63	65	3	5	12	9
30代	25	26	59	65	5	1	11	7
40代	26	20	47	54	2	4	24	22
50代	25	26	58	57	-	3	15	15
60代	38	33	46	53	1	-	14	14
70歳以上	30	44	54	42	1	1	14	12

(%)

[表 11] あなたは、被選挙権についてどうすべきだと思いますか。

	選挙権と同じ18歳以上にする		選挙権と同じ年齢まで引き下げる必要はない		今のままでよい		わからない	
	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022
高1	7	8	25	34	53	46	12	12
高2	4	6	27	30	50	52	16	12
高3	6	9	24	33	51	44	14	14
18～29歳	3	11	34	35	49	44	14	11
30代	6	6	25	41	57	49	12	4
40代	5	10	21	27	62	52	11	12
50代	5	6	24	22	65	62	6	9
60代	4	3	21	24	68	66	6	7
70歳以上	1	3	15	18	70	70	13	8

(%)

[表 12] 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。

	国会議員		官僚		首相		国民一人一人		大企業		マスコミ		わからない	
	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022
高1	23	29	9	10	14	11	25	22	1	4	8	8	14	12
高2	24	25	8	14	15	11	18	18	3	5	12	13	15	12
高3	20	27	8	15	18	11	13	15	5	5	10	11	18	13
18～29歳	12	25	23	24	5	-	14	18	12	9	9	11	18	13
30代	17	16	48	30	5	4	6	4	6	16	4	16	7	13
40代	14	18	51	41	6	5	8	7	6	11	2	6	10	12
50代	14	17	42	44	15	9	3	7	3	3	3	4	9	15
60代	13	12	54	44	16	9	4	6	4	5	1	-	7	22
70歳以上	20	24	35	40	15	7	15	5	1	6	2	1	8	15

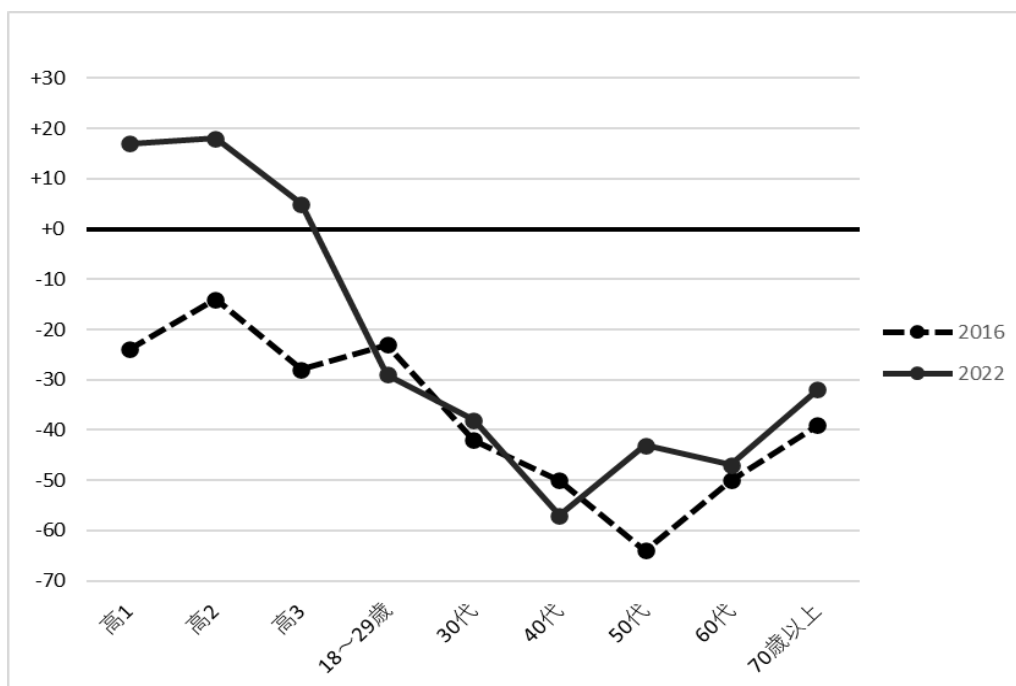
(%)

[表 13] あなたは、現在の政治に対してどの程度満足していますか。

	大いに満足		だいたい満足		やや不満足		大いに不満足		わからない	
	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022
高1	0	4	25	45	39	26	10	6	22	19
高2	0	3	29	47	36	26	7	6	24	18
高3	2	4	21	40	37	32	14	7	20	18
18～29歳	2	2	29	20	31	35	23	16	15	27
30代	-	4	24	22	41	45	25	19	10	10
40代	1	-	21	17	45	40	27	34	6	8
50代	-	1	15	25	53	45	26	24	5	5
60代	-	-	22	24	41	49	31	22	6	5
70歳以上	-	-	26	29	46	39	19	22	8	5

(%)

[図 1] 政治満足度：「満足」－「不満足」



〔表 14〕日本の政治家（国会議員、地方議員、知事や市長など）を考えた時、あなたは、政治家についてどんな印象を持っていますか。

	とても信頼できる		ある程度信頼できる		あまり信頼できない		全く信頼できない		わからない	
	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022	2016	2022
高1	1	3	18	39	55	40	11	6	11	12
高2	0	2	20	41	55	42	9	5	12	10
高3	1	3	16	33	53	46	16	7	9	12
18～29歳	－	2	14	24	62	53	14	20	11	2
30代	－	1	22	23	51	54	20	16	6	6
40代	－	－	26	16	54	55	15	23	4	6
50代	－	1	24	30	58	56	14	9	4	3
60代	1	－	30	34	56	48	8	10	6	6
70歳以上	1	1	38	32	49	50	8	8	4	8

(%)

〔図 2〕政治家信頼度：「信頼」－「不信」

